

CASBEE®-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

1-1 建物概要			1-2 外観	
建物名称	鳥取市民体育館	階数	地上4階	
建設地	鳥取県鳥取市	構造	0	
用途地域	準工業地域	平均居住人員	XX 人	
地域区分	6地域	年間使用時間	XXX 時間/年(想定値)	
建物用途	集会所,工場,	評価の段階		
竣工年	2023年3月 予定	評価の実施日	2021年1月28日	
敷地面積	19,689 m ²	作成者	本田 隆作	
建築面積	4,998 m ²	確認日		
延床面積	10,769 m ²	確認者		



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
BEE=1.0 ★★★★★ S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★ 環境効率 環境負荷 L	★☆☆☆☆ 30% ★☆☆☆☆ 60% ★☆☆☆☆ 80% ★☆☆☆☆ 100% ★☆☆☆☆ 100%超: ★ 標準計算 ①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+ このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです	Q2 サービス性能 5 Q1 室内環境 4 Q3 室外環境(敷地内) 3 LR1 エネルギー 2 LR2 資源・マテリアル 1 LR3 敷地外環境 1

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
Q1 室内環境 Q1のスコア= 2.9 音環境 温熱環境 光・視環境 空気質環境	Q2 サービス性能 Q2のスコア= 3.5 機能性 耐用性 対応性	Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア= 3.2 生物環境 まちなみ 地域性・
LR1 エネルギー LR1のスコア= 2.7 建物外皮の 自然エネ 設備システ 効率的	LR2 資源・マテリアル LR2のスコア= 3.2 水資源 非再生材料の 汚染物質	LR3 敷地外環境 LR3のスコア= 3.0 地球温暖化 地域環境 周辺環境

3 設計上の配慮事項		その他
総合 ・シンプル・コンパクト・機能的なスポーツ推進・健康づくりの拠点 ・市民のよりどころとなる快適・安全・安心な生活拠点 ・日常的にぎわい・交流を促す地域活性化の拠点 ・豊かで長閑な風土に調和し市のシンボルとなるデザイン Q1 室内環境 大きなガラス面は複層ガラスを採用し、高断熱な施設とする。 個別空調を採用し空調ゾーンを細かく設定し、室内環境の向上を図っている。 LR1 エネルギー 建物外皮の熱負荷抑制に努めている。 高効率な設備機器を採用している。		Q2 サービス性能 建築物移動等円滑化基準を満たすように計画している。 アリーナ、サブアリーナには天井を張らないことで、設備システムの変更、更新が容易にできるようにする。 LR2 資源・マテリアル 積極的に緑地を設け、熱的な影響を軽減させて取り組みをしている。
Q3 室外環境(敷地内) メインアリーナとそれ以外の諸室建屋とを分割して大きな壁面を減らすよう計画している。 既存樹木の保全を行うとともに、新たに樹木を設けることで植栽による良好な景観となるよう計画をしている。 LR3 敷地外環境 現地建て替えであることを踏まえ、利用状況の変化に対応した計画と運営を行うこととしている。		

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される